

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

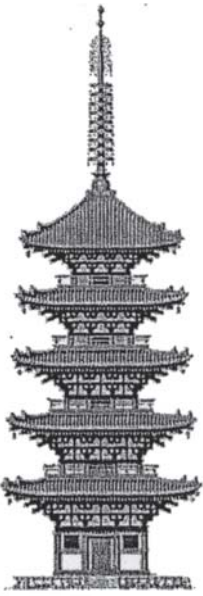
Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。日本
佛教と聖徳太子の生涯がテ
マの今年のかかわら版。最終回
の今月は太子の最期と太子伝
説についてです。

★ 念禪法師

六一五年(太子四十四歳)、
佛教の師である慧慈が高句麗
に帰国。教えを請う師を失い、
太子は寂寥の思いで晩年を過
ごしました。

六一八年(同四十七歳)、太
子は死期が近いことを悟り、妃
の膳大郎女(かしわべのおお
いらつめ)に六代前までの前
世を語りました。
初めは中国晋朝の時代に卑
賤の家に生まれ、衡山で三十
年の修行をした後、宋代以降
に四度輪廻して、六回目は念
禪法師(南嶽慧思大師)。い
ずれも衡山で修行しています。
六〇七年(同三十六歳)、小
野妹子を遣隋使として派遣し



た際、妹子に衡山に行つて三
人の老師に会うよう命じまし
た。
妹子が三老師を訪ねたとこ
ろ、「念禪法師はお元氣です
か」と尋ねられたそうです。

★ 国記・天皇記・本記

六一九年(同四十八歳)、推
古天皇は太子が着飾った姿の
夢を見ました。そのことを太
子に告げると、太子曰く「帝
のもとを離れる知らせです」
その年、太子は大病を患いま
す。

六二〇年(同四十九歳)の
三月と九月、太子は斑鳩宮で
別れの大会を催します。同
年十二月、太子の母、穴穂部
間人皇女(あなほべのはしひ
とのひめみこ)が崩御。また、
天に雉(きじ)の尾のような
赤氣(せつき)が出現。彗星
と伝えられています。
百済の高僧が「太子没後七
年目に兵乱があり、一族が滅
する兆し」と予言すると、太
子は黙って頷きました。
太子は倭国の安泰を念じ、
国記(すめらみことのみ)、天皇記
(すめらみことのみ)と

もに、諸豪族の本記(もどつ
ふみ)の編纂を命じました。
これらは、後世の日本書紀や
古事記のベースとなります。

★ 世間虚仮、唯仏是真

六二一年(同五十歳)二月
二十一日、太子は妃に沐浴を
命じ、自らも沐浴。太子は妃
に「今宵遷化します。一緒に
おいでなさい」と告げました。
翌二十二日、太子と妃は相
次いで遷化したそうです。太
子の遷化については、六二二
年説、二月五日説などもあり
ます。

晩年の太子の言葉として伝
えられているのは「世間虚仮、
唯仏是真(せけんこけ、ゆい
ぶつぜしん)」。曰く「世間
は虚しく、仮にして、唯だ仏
のみが真である」
後世の「天寿国繡帳銘(てん
じゅこくしゅうちようめい)」
の発願者、橋大女郎(たしばな
のおおいらつめ)の回想として
記されています。

★ 太子伝説

その後、太子の予言書と言
われる未来記が各地で発見さ
れています。
有名なのは一〇五四年、法
隆寺太子廟の横を多宝塔建立
されたために掘り下げた際に発見

太子の転生譚も知られてい
ます。その後の仏教を継承し
た行基をはじめ、空海、最澄
も太子の生まれ変わりと言わ
れました。
聖武天皇、後醍醐天皇、藤
原道長など、後世の権力者が
自らを太子の生まれ変わりと
称する例も現れました。
こうした六代輪廻、未来記、
転生譚などは、太子伝説とし
て伝承されています。



聖徳太子坐像

★ 飛鳥・奈良時代の日本仏教

太子が礎を築いた倭国仏教。
その後、最澄が誕生するのは
七六六年、空海が誕生するの
は七七四年。太子没後、約百
五十年後です。
来年は、最澄・空海に至る
飛鳥・奈良時代の日本仏教を
テーマにお伝えします。それ
では、良い年をお迎えくださ

